

## 9. 河川管理の現況

河川の維持管理に関しては洪水等による災害防止のための堤防、護岸、樋門、雨量・水位観測所および水質改善のための浄化揚水施設等の河川管理施設の機能を維持するため、日常管理を行っている。河川管理施設等の適切な維持管理を行うことにより、洪水等による災害発生の防止に努めるとともに、河川管理施設の長期的維持管理費の縮減を目指す。

### 9.1 管理区間

揖保川水系の国が管理している直轄管理区間は、本川揖保川 46.9km、派川中川 3.7km、元川 1.2km、支川林田川 6.6km、栗栖川 7.2km、引原川 1.1km、総直轄管理区間 66.7km である。

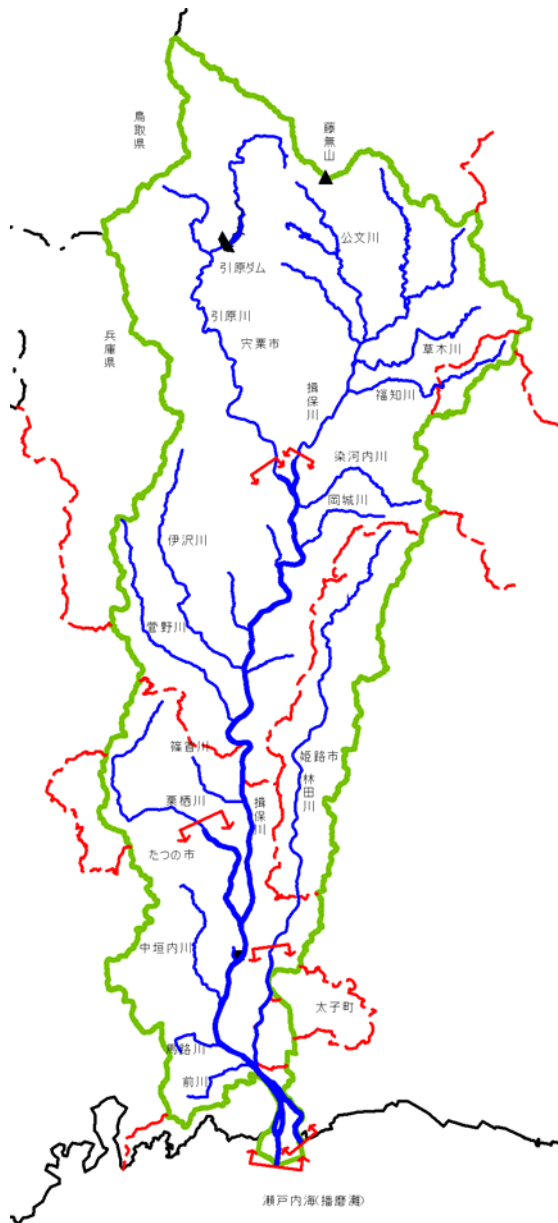


図 - 9.1 揖保川水系 直轄管理区間

表 - 9.1 揖保川水系 管理区間

管理者	河川名	管理区間延長 (km)
国土交通省	揖保川	46.9
	中川	3.7
	元川	1.2
	林田川	6.6
	栗栖川	7.2
	引原川	1.1
	小計	66.7
兵庫県	揖保川	22.6
	支川	201.6
	小計	224.2
合計		290.9

## 9.2 河川管理施設

揖保川では、終戦直後の昭和 21 年度から築堤・護岸・樋門工事等、河川管理施設の整備を実施してきており、経年的な劣化、老朽化及び洪水等により、本来の機能低下が懸念されるため、定期的な巡視・点検を実施し、必要に応じて維持修繕・改良対策等の維持管理を行っている。

### (1) 堤防整備状況

揖保川の堤防は揖保川下流部および林田川を中心に整備されてきた。堤防整備率は、揖保川下流部で 87%である（完成堤、暫定堤の合計値）。また、中川では高潮堤が整備されている。

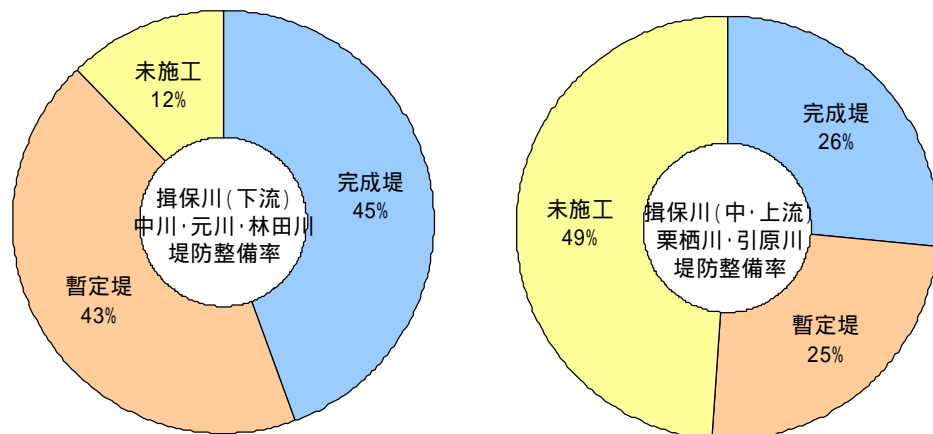


図 - 9.2 堤防整備所況 (H17 年度調査結果)

## (2) 畳堤

畳堤とは揖保川の緊急時の防災対策として、昭和 20 年以降に築造された特殊堤である。普通の土石・コンクリートなどでできた堤防とは違い、一見、橋の欄干のように見えるフレームが並び、川の景観を損ねない構造となっている。

揖保川において畳堤が採用された経緯は、昭和 22 年、地元龍野市より特殊堤(パラペット)設置の提案が出された。当初は壁のような特殊堤(案)であったが「ふだんは揖保川が眺められるように枠だけにしてほしい。防災はみんなで行うもの、洪水の時は自分たちも畳を入れて協力する。」という周辺住民らのたつての要望により、現在の畳堤となった。そのため、揖保川では畳堤が地域の水防意識(自主防災)の象徴となっている。

現在、畳堤は揖保川に 3 箇所(龍野地区(左岸 12k6 ~ 13k6, 右岸 12k0 ~ 13k8), 正条地区(右岸 7k8 ~ 8k2), 苅屋地区(元川右岸 1k0 ~ 1k2))に設置されている。



畳堤(旭橋付近)



水防演習

(3) 主な河川管理施設

堤防護岸を除く主な河川管理施設は、水門 3 箇所、樋門樋管 124 箇所、揚排水機場 9 箇所、堰 41 箇所等の計 181 箇所存在する。

これら河川管理施設の状況を把握し適切な処置を講じるため、巡視，点検を実施するとともに、利水者や沿川自治体と合同で出水期前や臨時、定期的な点検を行っている。

表 - 9.2 直轄管理区間の主な河川構造物数

	水門	樋門樋管	揚排水機場	堰	床固	閘門・陸閘	合計
直轄	2	43	0	1	1	3	50
許可	1	81	9	40	0	0	131
合計	3	124	9	41	1	3	181

(4) 井堰

過去、水害の経験を踏まえて井堰の統合が行われてきたものの、揖保川には今なお多くの井堰が存在している（揖保川直轄管理区間内：40 施設）。井堰により静水面ができ、揖保川らしい景観が形成されている反面、河川の縦断的連続性が阻害されている。

揖保川に井堰が多数設置された原因として、小規模な集落が単位となって井堰を設置して農業が営まれてきた経緯と、流域の地形が細長く V 字谷になっており、一度取水した河川水が揖保川に還元されるという特徴によるものと考えられる。

表 - 9.3 直轄管理区間における堰の統廃合

河川名	撤去施設				設置施設		備考
	施設名	施設管理者	設置年	撤去年	施設名	施設管理者	
揖保川	浦上頭首工	不明	不明	1952	岩浦頭首工	兵庫県	昭和23年に揖保川改修事業に伴い、県営事業で統合。
	岩見頭首工	不明	不明	1952	小宅統合頭首工	兵庫県	昭和35年に台風、昭和37年の豪雨により流失したため、統合し復旧。
	島田頭首工	小宅井堰代表	不明	1963			
	小宅頭首工	小宅井堰代表	不明	1963	吉島統合頭首工	兵庫県	昭和45年に台風により流失したため、統合し復旧。
	井ノ原頭首工	不明	不明	1973			
	吉島頭首工	不明	不明	1973	笹野統合頭首工	兵庫県	昭和43年に台風により流失したため、統合し復旧。
	上笹頭首工	新宮町	不明	1970			
	下野頭首工	新宮町	不明	1970	戸原頭首工	兵庫県	昭和39年に台風により流失した、受益地付近の3井堰を統合し、昭和41・42年度に県営災害復旧事業により完成。
	川戸頭首工	山崎町	明治初期	1966			
	宇原上頭首工	山崎町	明治初期	1966	河東統合頭首工	兵庫県	昭和45年に台風により流失したため、統合し復旧。
	宇原下頭首工	山崎町	明治初期	1966			
	須賀沢井堰	山崎町	不明	1974	片吹頭首工	兵庫県	昭和41年、老朽化したため、県営事業で統合。
野々上頭首工	山崎町	不明	1974				
岸田頭首工	山崎町	不明	1974	赤井頭首工	小宅統合土地改良区	昭和39年、老朽化したため、県営事業で統合。	
片吹頭首工	水利組合	不明	1968				
林田川	柳原頭首工	水利組合	不明	1968	赤井頭首工	小宅統合土地改良区	昭和39年、老朽化したため、県営事業で統合。
	内山頭首工	小宅統合土地改良区	不明	1968			
	赤井頭首工	小宅統合土地改良区	不明	1968			

### 9.3 河川情報管理状況

#### (1)雨量・水位等

揖保川水系に関わる河川情報は、雨量観測所 10 箇所、水位観測所 11 箇所を設けて情報収集をしている。他、姫路河川国道事務所では河川監視 CCTV14 台、排水機場遠隔操作 1 箇所等を設置して情報を管理している。

揖保川水系では、光ケーブルネットワーク網を活用し、災害や事故の状況をリアルタイムに情報収集・提供するため、光ケーブルの整備を推進している。

水位情報配信サービスにより、揖保川で観測している水位観測所の観測値が指定水位及び警戒水位を超えたときに電子メールで知らせている。

#### (2)巡視・調査

揖保川の河川情報を収集するために、平時より巡視・調査を実施している。

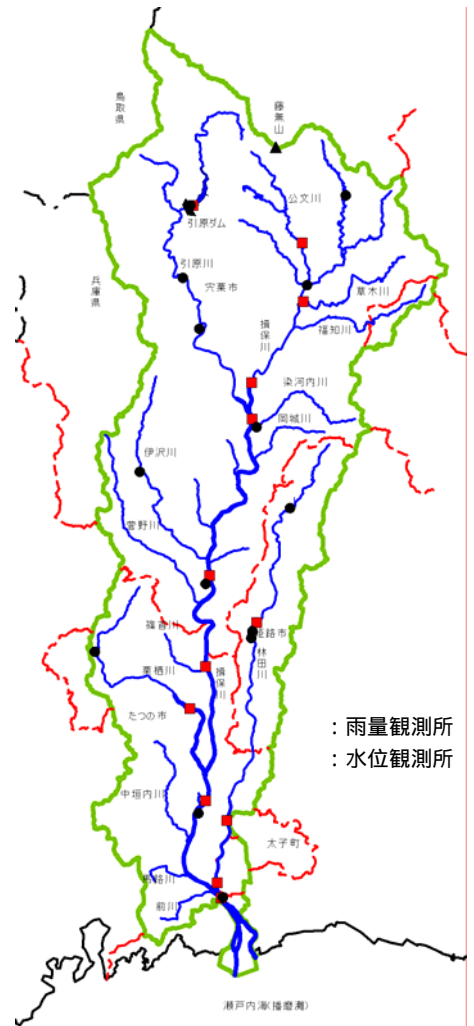


図 - 9.3 雨量・水位観測所位置図



図 - 9.4 水位情報配信サービス  
(対象観測所位置図)



図 - 9.5 樋門付近の CCTV 監視カメラ

## 9.4 危機管理への取り組み

### (1) 水防協議会との連携

揖保川では、適切な水防活動に資するため、水防団の河川巡視及び情報連絡、重要水防箇所の説明など水防に関わる事項の説明・意見聴取を行うことを目的に水防関係機関で組織した協議会を設立している。

表 - 9.4 水防協議会メンバー

機関・団体	メンバー
国	近畿地方整備局 姫路河川国道事務所
兵庫県	兵庫県県土整備部 姫路土木事務所，龍野事務所，上郡事務所
市町	姫路市，たつの市，宍粟市，太子町
気象庁	神戸海洋気象台

### (2) 洪水予報連絡会との連携

水防法に基づき、姫路河川国道事務所と神戸海洋気象台とが共同して行う揖保川の洪水予報に資するよう、関係官公署及び関係団体が通報の伝達を円滑に行い、もって洪水を防御しかつ洪水被害の軽減を目的に水防関連機関で組織した洪水予報連絡会を設立している。

表 - 9.5 洪水予報連絡会メンバー

機関・団体	メンバー
国	近畿地方整備局 姫路河川国道事務所
気象庁	大阪管区気象台 神戸海洋気象台
兵庫県	県土整備部，企画管理部 兵庫県警察本部 中播磨県民局，西播磨県民局
市町	姫路市，たつの市，宍粟市，太子町
警察	網干警察署、龍野警察署、宍粟警察署
民間	西日本電信電話会社(株)，関西電力(株)，西日本旅客鉄道(株)，山陽電気鉄道(株)，神戸電鉄(株)，神姫バス(株)，(株)ラジオ関西，サンテレビジョン，NHK 神戸放送局，神戸新聞社

### (3) 総合流域防災協議会との連携

流域全体の治水対策を進めるにあたり、国と兵庫県が連携し治水安全度の確保、向上あるいは治水施設の整備に必要な調査、評価を行い、それに基づき流域の今後のあり方について具体の整備を進めるための場として総合流域防災協議会を開催している。

表 - 9.6 総合流域防災協議会委員(西播・中播圏域)

組織	職名
国	近畿地方整備局 河川計画課長，地域河川課長 姫路河川国道事務所 事務所長
兵庫県	県土整備部 河川計画課長，河川整備課長
兵庫県中播磨県民局	姫路土木事務所長 姫路港管理事務所長
兵庫県西播磨県民局	龍野土木事務所長 上郡土木事務所長

### (4) 水利用における利水者との連携

揖保川水系では、水の利用を円滑に行うため、揖保川の中流域から下流域に水利権を有する関係者で、毎年、「河川水利用打合せ会議」を開催している。

また、渇水時には渇水調整に至るまでの水利使用者間の調整を行うために、開催する場合がある。

表 - 9.7 河川水利用打合せ会議への参加機関

主催者	兵庫県西播磨県民局県土整備部龍野土木事務所
出席機関	近畿地方整備局 姫路河川国道事務所 兵庫県西播磨県民局県土整備部龍野土木事務所 兵庫県西播磨県民局地域振興部龍野土地改良事務所 兵庫県企業庁管理局水道課 兵庫県企業庁姫路利水事務所 吉島土地改良区，北村土地改良区 東鯉崎自治会，小宅土地改良区 半田水利組合，岩浦土地改良区 片島水利組合，揖保上土地改良区 宝記水利組合，王子用水水利組合 浜田農区 ダイセル化学工業株式会社 網干工場